

2017年1月期 6月度 月次業績動向(2016年5月21日～2016年6月20日)
会社名 ピープル株式会社

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕千鶴子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《過去12ヶ月累積の対比》		
	2016年1月期 6月度	2017年1月期 6月度	前年 同月比	15/1/21～ 15/6/20	16/1/21～ 16/6/20	前年 同期間比	14/6/21～ 15/6/20	15/6/21～ 16/6/20	前年 同期間比
売上高	283,302	351,517	124.1%	1,511,609	1,896,696	125.5%	3,839,208	5,045,865	131.4%
営業利益	18,706	1,976	10.6%	172,806	202,616	117.3%	417,319	640,513	153.5%
経常利益	18,858	1,929	10.2%	177,053	199,221	112.5%	431,532	633,126	146.7%
税引前利益	18,858	1,913	10.1%	177,053	199,205	112.5%	431,571	633,496	146.8%
流動資産	2,020,815	1,977,898	97.9%						
固定資産	205,091	253,665	123.7%						
流動負債	311,270	295,186	94.8%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,864,637	1,886,377	101.2%						
総資産	2,225,907	2,231,563	100.3%						

**【2017年1月期第2四半期累計期間
(2016/1/21～2016/7/20)業績予想】**
(2016年6月2日発表)

- ・売上高: 22億76百万円(前年同期間比 14.8%増)
- ・営業利益: 2億59百万円(" 7.0%増)
- ・経常利益: 2億57百万円(" 4.9%増)
- ・四半期純利益: 1億69百万円(" 8.6%増)

商品別売上高

商品カテゴリー名	2016年1月期 6月度	2017年1月期 6月度	当月 構成比	15/1/21～ 15/6/20	16/1/21～ 16/6/20	当期間 構成比	14/6/21～ 15/6/20	15/6/21～ 16/6/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	76,988	94,578	26.9%	471,122	456,061	24.0%	1,314,621	1,442,482	28.6%
女兒玩具	53,003	52,744	15.0%	285,923	290,406	15.3%	770,351	1,001,721	19.9%
遊具・乗り物	72,554	27,536	7.8%	346,412	402,283	21.2%	678,082	907,324	18.0%
海外販売、その他	80,757	176,659	50.3%	408,152	747,946	39.5%	1,076,154	1,694,338	33.5%
合計	283,302	351,517	100.0%	1,511,609	1,896,696	100.0%	3,839,208	5,045,865	100.0%

6月度新発売商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税別)
乳児・知育玩具	「男の子脳を刺激するピタゴラス」	¥5,800
	「女の子脳を刺激するピタゴラス」	¥5,800
	スージー・ズーのキチントイ「密着ハグ・フレンド～なかよしシュシュつき～」(新発売)	¥3,980
	同「おはなしかけえほん」(リニューアル)	¥4,200
	同「やさしさ100%チャイム」(リニューアル)	¥2,700
	同「ご出産おめでとうセット」(リニューアル)	¥15,000
女兒玩具	人形「プルもいっしょぼぼちゃん うさぎのチュチュスカート水着」(夏季限定)	¥3,280
	「ピンポンつき おしゃべりぼぼちゃん家(ち)」	¥5,980

当6月度は、玩具部門で乳児・知育カテゴリーの新製品セルイン等が重なり前年同月を上回りながらも、自転車部門で当期特有の出荷ズレが下振れ要因となり国内販売に影響しています。一方、海外販売では、次月7月度分が当月に前倒され出荷が集中した為、総売上高は3億51百万円、前年同月対比24.1%増となりました。

当期の自転車部門においては、第1四半期に集中して新製品出荷をしていることから当6月度は補充注文のみとなり、大手のセルイン出荷があった前年同月に比べ、当単月売上高は大きく縮小しております。しかし同部門の累積では依然前年を超えて推移しています。

乳児・知育カテゴリーでは、ピタゴラスシリーズでターゲット年齢を4-5歳に上げた新製品「男の子脳を刺激するピタゴラス(税別¥5,800)」、「女の子脳を刺激するピタゴラス(税別¥5,800)」を2品同時発売しました。ターゲット年齢の男児の心を揺さぶる異例のTVCMが効果を上げ、かつ、同品はおもちゃショー優秀賞を当月受賞したことから、その店頭POPも販売を促進して、女の子セットと共に好調な販売開始となりました。同カテゴリーではスージー・ズーのキチントイで新生児に向けたぬいぐるみの新製品「密着ハグフレンド(税別¥3,980)」と共に、前年の同ギフトシリーズをリフレッシュした商品を発売したところ、「密着ハグフレンド」がシリーズ全体を牽引し回転し始めています。

こうした新製品の好調な走り出しの一方で、玩具部門ではGW明け以降萎んだ既存品の注文が、当6月度に入り更に鈍化傾向を強め、これは玩具市場全般に見られる傾向で、しばらく続く様子を見せています。

なお、当6月度では、5年ぶりに東京おもちゃショーへ出展したこと、及び、PEOPLEブランドのグローバル商品化の為の諸費用や国際商標出願費用等が例年に無い出費として当月に集中し発生したことから、当月の営業利益は前年対比で極端に減少しておりますが、徐々に平準化していく見込みです。